



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 岩崎通信機株式会社
 コード番号 6704 URL <http://www.iwatsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西戸 徹
 (氏名) 佐藤 修
 TEL 03-5370-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,033	4.4	366		344		378	
2019年3月期第2四半期	9,605	1.9	539		532		75	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 458百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 88百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.22	
2019年3月期第2四半期	7.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,574	19,129	66.9
2019年3月期	29,409	19,676	66.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,129百万円 2019年3月期 19,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当予想額は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	7.0	50		100		20	95.1	2.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	10,080,344 株	2019年3月期	10,080,344 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	165,226 株	2019年3月期	179,970 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	9,910,857 株	2019年3月期2Q	9,897,812 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
継続企業の前提に関する注記	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
セグメント情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢の改善などを背景に回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の長期化による景気減速の懸念などから、依然として景気は先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況の中、当社グループでは、前中期経営計画を受けて、「成長性及び収益性の追求を加速する」ことを基本方針とした2022年3月期を最終年度とする中期経営計画「Dash! 2021」を策定し、前中期経営計画の課題を一つ一つクリアしながら、成長性及び収益性を追求していきます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,033百万円で前年同期に比べ4.4%の増収となりました。利益面では営業損失366百万円（前年同期539百万円の損失）、経常損失344百万円（前年同期532百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は378百万円（前年同期75百万円の損失）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純損失が前年同期に比べ悪化したのは、経常損失が前年同期に比べ188百万円改善した一方で、前年同期においては当社における退職金制度統合に伴う退職給付費用461百万円を特別損失として、保有不動産の売却に伴う土地売却益573百万円及び建物売却益84百万円を特別利益として、法人税、住民税及び事業税323百万円、繰延税金負債の取崩しによる法人税等調整額の戻入益610百万円をそれぞれ計上したことによるものです。

セグメントごとの状況を示すと、次のとおりです。

(情報通信事業)

情報通信事業においては、主に中小事業所向けビジネスホン及びコンタクトセンタソリューションの売上高が増加したことにより、事業全体の売上高は7,140百万円で前年同期に比べ6.0%の増収となりました。セグメント損益は404百万円の利益（前年同期254百万円の利益）となりました。

(印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に印刷機の売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は1,165百万円で前年同期に比べ8.4%の減収となりました。セグメント損益は24百万円の利益（前年同期3百万円の利益）となりました。

(電子計測事業)

電子計測事業においては、主に航空宇宙関連の売上高が増加したことにより、事業全体の売上高は1,547百万円で前年同期に比べ6.8%の増収となりました。セグメント損益は51百万円の損失（前年同期15百万円の損失）となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、主に当社本社敷地内の保有資産の有効活用により、事業全体の売上高は179百万円で前年同期に比べ24.0%の増収となりました。セグメント損益は43百万円の利益（前年同期48百万円の利益）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,280	8,066
受取手形及び売掛金	5,668	5,080
商品及び製品	1,651	2,184
仕掛品	871	814
原材料及び貯蔵品	1,958	2,109
その他	141	151
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	18,569	18,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,388	3,314
土地	3,724	3,721
その他(純額)	1,129	1,076
有形固定資産合計	8,241	8,111
無形固定資産		
ソフトウェア	472	541
その他	45	45
無形固定資産合計	518	587
投資その他の資産		
投資有価証券	1,682	1,118
その他	431	386
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	2,079	1,471
固定資産合計	10,840	10,170
資産合計	29,409	28,574

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,344	1,646
短期借入金	80	80
未払法人税等	343	78
賞与引当金	518	506
製品保証引当金	91	85
その他	1,483	1,306
流動負債合計	3,861	3,703
固定負債		
繰延税金負債	1,245	1,226
株式給付引当金	54	48
退職給付に係る負債	4,110	4,028
その他	460	438
固定負債合計	5,871	5,741
負債合計	9,733	9,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	6,584	6,107
自己株式	△165	△153
株主資本合計	19,393	18,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	296	235
為替換算調整勘定	△127	△158
退職給付に係る調整累計額	113	125
その他の包括利益累計額合計	282	202
純資産合計	19,676	19,129
負債純資産合計	29,409	28,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,605	10,033
売上原価	6,166	6,518
売上総利益	3,439	3,514
販売費及び一般管理費	3,978	3,881
営業損失(△)	△539	△366
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	25	24
受取地代家賃	17	19
その他	51	24
営業外収益合計	108	79
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	15	13
固定資産除却損	1	26
投資有価証券売却損	76	—
その他	7	16
営業外費用合計	101	57
経常損失(△)	△532	△344
特別利益		
土地売却益	573	—
建物売却益	84	—
特別利益合計	658	—
特別損失		
投資有価証券評価損	26	—
退職給付費用	461	20
特別損失合計	487	20
税金等調整前四半期純損失(△)	△362	△365
法人税、住民税及び事業税	323	24
法人税等調整額	△610	△11
法人税等合計	△287	13
四半期純損失(△)	△75	△378
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△75	△378

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△75	△378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	△60
為替換算調整勘定	75	△31
退職給付に係る調整額	2	11
その他の包括利益合計	163	△79
四半期包括利益	88	△458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88	△458

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上高						
外部顧客への売上高	6,739	1,272	1,448	144	—	9,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,739	1,272	1,448	144	—	9,605
セグメント利益又は損 失(△)	254	3	△15	48	△831	△539

(注) 1. セグメント損益の調整額△831百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△831百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上高						
外部顧客への売上高	7,140	1,165	1,547	179	—	10,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,140	1,165	1,547	179	—	10,033
セグメント利益又は損 失(△)	404	24	△51	43	△788	△366

(注) 1. セグメント損益の調整額△788百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△788百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、保有不動産の賃貸及び管理を事業化するための組織変更に伴い、報告セグメントを従来の「情報通信事業」、「印刷システム事業」及び「電子計測事業」の3区分から、「情報通信事業」、「印刷システム事業」、「電子計測事業」及び「不動産事業」の4区分に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しています。